

団長の独り言

10月8日(土)「還暦を迎えました。」

本日10月8日(土)は私の誕生日です、ついに60歳となりました。

実は一週間くらい前から、今日と言う日が来るのが恐怖だった。

だつてねえ…還暦って、イメージ的に「おじいちゃん」って感じてしょ?

なんだかなあ…って気持ちがあり、それでも「そんなものは気にしない」って自分にいい聞かせ、平常心でいつものように「いつもの誕生日が来るだけ」と思い込もうと努力をして日々を過ごしてはいた。

しかし…実は「還暦を迎える日」というのは、私の中ではやっぱり特別な日であり、すごく大切にしたい日でもあったのは間違いないんだけどね…。

そんな複雑な想いを胸に、12時30分過ぎに稽古場に到着。

今日から、本番の舞台とほぼ同じ寸法の広々とした部屋での稽古となるので、みんなもいつもとは違った雰囲気、ワクワクそわそわ?なんだかそんな感じ。

全員でわっさわっさとして荷物を運び込み、図面片手に実寸どおりにマーキングをするメンバーや、小道具類の確認&設置を行うメンバー、音声ガイド送信機器や、大型電子ピアノをセッティングをするメンバー等、自然と役割分担が出来た中で、通し稽古に向けての準備が行われる。

私はと言えば、稽古風景を収録するためのビデオの設置。

稽古風景全体がまんべんなく録画出来る位置に三脚を立て、そこに広角レンズを装着したビデオカメラを設置する。

その映像はYouTubeにアップし、それを各自に観てもらおうのが目的。

自分の演技を客観的に観るのはとても重要だと私は思っている。

この動画は限定公開で、アドレスを知ってるメンバーしか見られないように設定しているのだが、アップ後の再生回数が40回とか50回とかになっていた!出演者が14名なので、つまり1人何回も何回もこの動画を見たって事になる。

皆さんのその「やる気」には敬服!それにしても、世の中便利になったものだねえ。ネット回線を通して、一斉に動画を共有出来るんだからねえ。

ただ未完成の稽古風景なので、さすがに一般公開してわけにもいかず、劇団メンバー達だけでひっそりと共有しているんだけどね。

そのビデオ撮影の成果が本番に活かせられるように、大いに研究してもらいたいものです。

さて約1時間程度の準備を経て、通し稽古がすぐに始められるよう全員衣裳に着替え、まずは転換稽古から。転換スタッフの舞ちゃん(木村舞子)が、フルで稽古に参加してくれるので、これまで行う事が出来なかった「舞台転換」

に絡む箇所を抜き出し、問題点がないか検証し、事細かな確認作業を終える。

そして「10分後、通し稽古を開始しましょう!」と私が言ったその瞬間、突然アマティアズのピアノ演奏が始まった。

「????????」となったのは私だけで、みんな笑顔で私を見つめ、音楽に合わせ全員でハッピーバースデーの合唱が始まる。

何の事だかすぐに理解した私は、照れながら立ち上がり、合唱を聞き、歌が終わると皆さんの盛大の拍手と「団長、還暦おめでと〜」の大声援!

そして、みつちゃん(鈴木美千代)が代表として、皆さんが寄せてくれた直筆のメッセージカードが張り付けられた見開きのメッセージボードを頂く。

劇団活動を続けてきた中で、誕生日と稽古日が重なった日はそこそこあったけれど、皆さんに気を遣わせたくないって気持ちと、「誕生日なんて、所詮人生の通過点の一日にしかすぎねえぜ!ケツ!」

ってな感じで、天邪鬼精神で稽古に挑んでいたの、こうして皆さんから祝福されるのは、20数年前の「人生芸夢」の稽古の時に1度あっただけで、あとは「そんなもんするなオーラ」を出し続け、極力「誕生日」を隠し続けていたのだが、いやはや…今日、こうして皆さんから心こもった歌と、いつの間にか用意してくれていたメッセージボードに描かれた文章を読んで、グッとくるものがあった。

私の天邪鬼精神を知っているメンバー達は、「誕生日セレモニー」を行うかどうするか?最初躊躇したらしいのだが、どうやら無意識のうちには、私はあちらこちらで「今年で還暦」ってのを連発していたらしく…(この団長の独り言にもしつつこ

いように描いていたみたい)、私の行動に、「団長は還暦ってのをすごく気にしているな」と察し、一か八かで「誕生日セレモニー」を行ってくれたそうだ。

ただ…そのタイミングをいつにするのか?かなり悩んだみたいで、この日行う通し稽古の後だと、方が一、通し稽古の結果が散々な結果で、私がヒートアップしていたら「セレモニー」どころじゃないだろうし… 団長の精神状態によっては今日のセレモニーは中止するのもあるぞ!

つてのも全員承知の上で、「タイミングよく祝福できるか?」みんな内心ドキドキしていたんだつて。

こうして心のこもった祝福を受け、感激しつつ皆さんへのご挨拶を行い、その中で「私もついに高齢者の仲間入りさせていただく事になりました」ってフレーズを言うと、〇〇さんが「ようこそ!いらっしや〜い」って言って手招きしてくれて、稽古場は温かい爆笑と拍手に包まれる。

そして気持ちを切り替え、ひろーい部屋での通し稽古開始!温かい雰囲気の中で、手応えのあった通し稽古となったのは言うまでもないのです。